



芦屋市リハビリ専門職ネットワーク
芦屋PTOTST連絡会

芦屋PTOTST連絡会による 地域リハビリテーション支援体制の 形成と実践



兵庫県芦屋市精道町8-20



ashiya-shakyo.com





背景

Background

地域特性と発足

芦屋市

- ✓ 人口 約96000人
- ✓ 高齢化率 30.2%
(令和6年1月)
- ✓ 面積 約18km²
- ✓ 特徴 都市部でありながら自然が多く、健康寿命が全国的に高い

芦屋PTOTST連絡会

- ✓ 2019年に連絡会発足
- ✓ 拠点組織に依存せず、有志のリハ職が集まり活動開始
- ✓ 地域リハ支援の窓口機能を担う





芦屋市リハビリ専門職ネットワーク
芦屋PTOTST連絡会

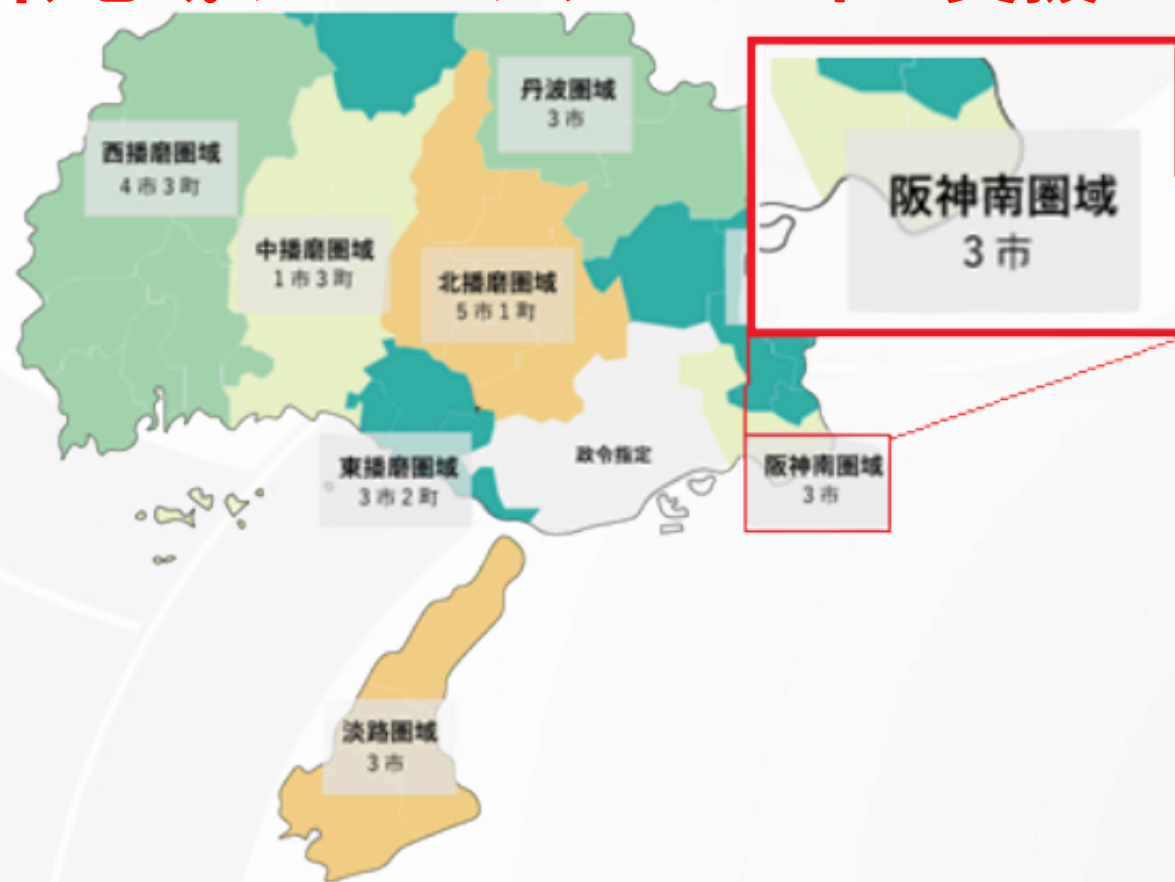
芦屋PTOTST連絡会について

About the Ashiya PTOTST Network



9圏域（神戸市以外）

全県地域リハビリテーション支援センター



阪神南圏域リハビリテーション支援センター

相談役

定例会議

行政
 (芦屋市高齢介護課)



芦屋PTOTST連絡会

代表	1名
副代表	2名
メンバー	17名
メール会員	23名



沿革 History

2019年

11月

設立

**6事業所
8名**

病院・診療所

市立芦屋病院
 芦屋セントマリア病院
 芦屋整形外科スポーツクリニック
 芦屋クリニックのぞみ
 整形外科たかひろクリニック

2020年

1月

・活動指針決定

4月

・地域ケア会議派遣開始

5月

・ケーブルテレビで運動紹介

7月

・ケアマネ研修講師派遣

9月～11月

・市内共通リハサマリー作成
 ・YOUTUBEチャンネル開設
 ・ホームページ開設

2021年

1月

・運動冊子作成（市民に配布）
 ・ロゴマーク作成

4月

・通いの場にリハ職派遣開始

9月

・「広報あしや」にフレイル
 予防啓発の記事掲載

入所・通所施設

愛しや
 リハビリモンスター芦屋
 さくらの園
 グランダ芦屋
 Tommy Reha整体院

2022年

1月

・シルバー人材講師派遣開始

4月

・フレイル予防事業開始
 ・地域リハ活動支援事業
 個別訪問支援開始

8月

・老人クラブ講師派遣
 （高齢者スポーツ障害予防）

10月

・地域リハ活動支援事業
 集団支援開始

訪問看護ステーション

芦屋市訪問看護ステーション
 メディケアシステム訪問看護・
 リハビリセンター芦屋
 ロジケア訪問看護ステーション
 ルート訪問看護ステーション
 ヒロ訪問看護ステーション
 コロコロ訪問看護ステーション
 えびすリハビリ訪問看護ステーション

2023年

6月

・薬剤師会研修会講師派遣

7月

・あしや保健福祉フェア出店
 （体力測定会）

11月

・芦屋市介護事業者研修講師派遣
 （移乗介助について）

2024年

2月

・芦屋市歯科医師会×POS連絡会
 連携協議会

7月

・あしや保健福祉フェア出店
 （芦屋市歯科医師会と協働）
 ・こども訪問看護リハカンファ開始
 （事例検討会）

12月

・ロゴマークを変更

大学

兵庫医科大学
 甲南女子大学

2025年

1月

芦屋緩和医療連絡協議会研修
 （事例発表）

7月

・兵庫県栄養士会講師派遣

**19事業所
20名**

**メール会員
23名**



芦屋市リハビリ専門職ネットワーク
芦屋PTOTST連絡会

主な活動

Main Activities



3つの活動指針



5つの活動展開

**ボランティア活動ではないので、
 地域からの依頼は必ず報酬を交渉！**

連絡会の運営

- ・2カ月に1回定例会議
- ・行政職員も参加
- ・市内外問わず、広域的なネットワーク
- ・情報共有、地域依頼対応や協議

地域支援活動

- ・地域ケア会議
- ・フレイル予防事業
- ・通いの場への支援

講師依頼の受託

- ・地域の職能団体からの講師依頼
- ・地域の民間企業からの講師依頼

イベント・交流会企画

- ・芦屋健康福祉フェア
- ・秋の健康フェス
- ・芦屋こども訪問看護リハカンファレンス

多職種連携会議 参画

- ・市内の医療、介護、福祉の職能団体との情報交換や研修会の企画



依頼から受託までの流れ Process

市の事業



芦屋市



商業施設でフレイル予防



地域住民



芦屋市



自主グループにフレイル予防



地域包括



芦屋市



ケア会議
通いの場への支援

独自で受託



地域包括



ケアマネ研修依頼

栄養士会講師依頼

事業者連絡会講師依頼

多職種連携会議からの講師依頼

ピラティススクールから講師依頼

保育園から講師依頼

ファミリーサポートセンター講師依頼



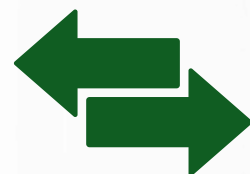
職能団体



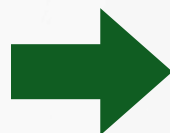
民間企業



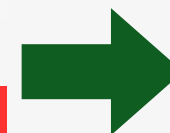
地道な関係作り



実績



信頼



行政や圏域リハ支援センターの主導によるものではなく
地域のリハビリ専門職が主体的に築き上げた現場主導の成果



芦屋市リハビリ専門職ネットワーク
芦屋PTOTST連絡会

特徴①開かれた体制

Open Structure

芦屋市の地域支援に興味のある方はだれでも会の運営に関われる

県士会会員の有無は問わない

地域支援に興味のある人

派遣には条件・優先順位あり

【条件】 全県地域リハビリテーション支援センター主催の研修を受けた人

【優先順位】 ①定例会議に参加している方 ②芦屋市在住・在勤の方 ③派遣回数に偏りがないように調整





特徴②拠点に依存しない運営

Bottom-up

19事業所20名が中心に地域支援

地域のリハ職が有志で立ち上げ

各事業所からの参加者に偏りが無い

地域のリハ職と行政が対等に協議

地域派遣に公平性が担保



【協力事業所】 病院・クリニック **5**ヶ所 / 入所・通所施設 **5**ヶ所 / 訪問看護 **7**ヶ所 / 大学 **2**ヶ所



特徴③ 産官学連携

Industry-Government-Academia Collaboration

2021年より
芦屋PTOTST連絡会との連携が行政計画
に位置付けられている

【産】地域の事業所

【官】芦屋市

【学】2カ所の大学



第9次 芦屋すこやか長寿プラン

芦屋市 第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画

「高齢者がいつまでも、いきいきと安心して暮らせるまち」の実現

具体的な実施について、庁内関係課に
し、医療・保健・福祉の関係する取組の調
な実施を図ります。

後期高齢者医療健康診査や通いの場において、後
票を活用し、適切な医療や支援につなげます。

- 医療専門職が通いの場等に関与することで、参加者の健康づくりへの興味関心を高め、活動内容の充実を図り

●目標値【通いの場等での保健事業と介護予防の一体的実施の回

R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
24	36	48

- 芦屋PTOTST連絡会と連携した、地域リハビリ
動支援事業を実施し、介護予防の取組内容の強化・充
す。【新規】

- 自立支援・重度化防止に向け、多職種が参加する
継続して実施します。

様々な主体や各職能団体との連携により
事業を実施します

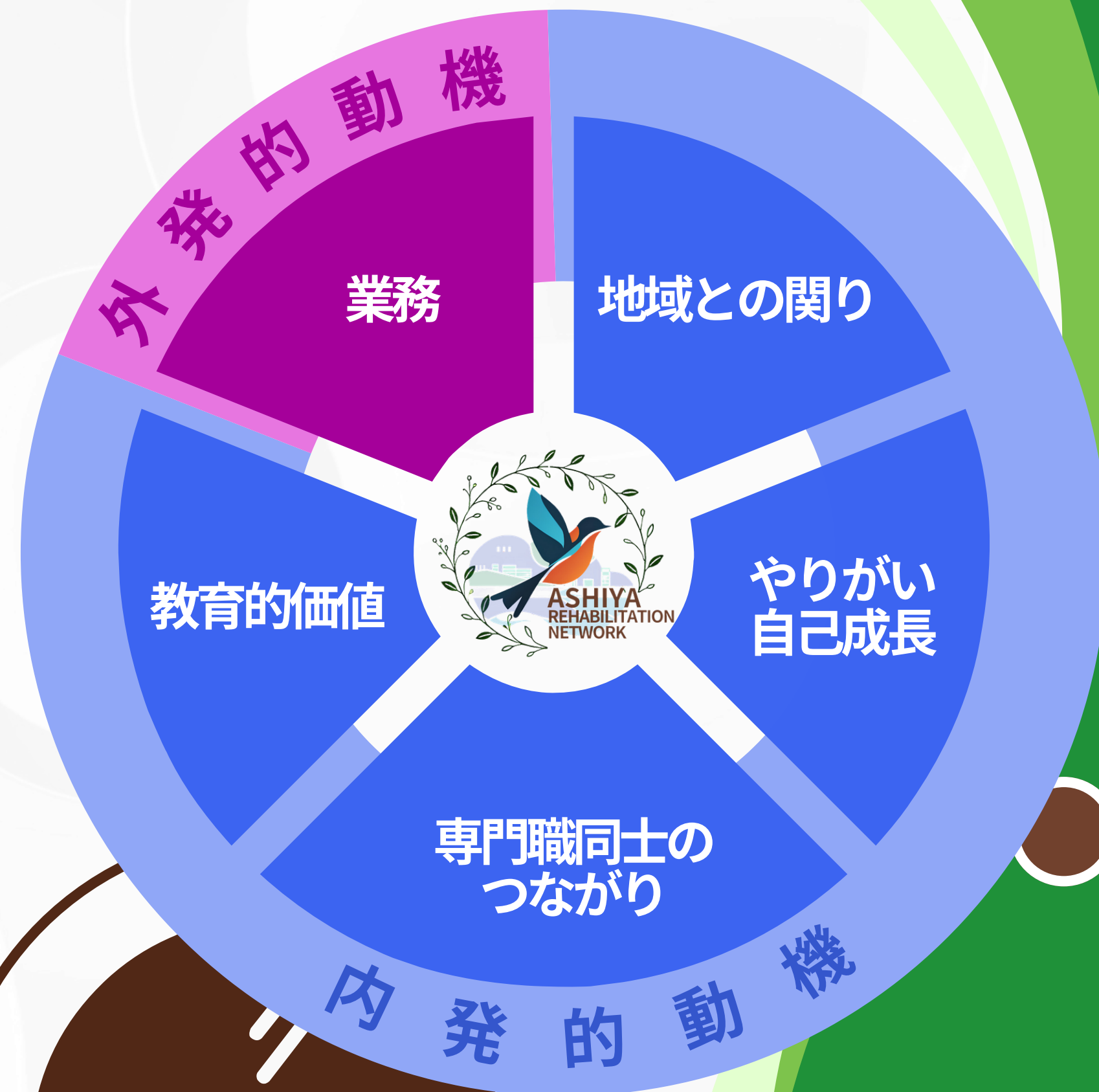




参加動機 Motivations

地域貢献・協働・行政と関わる価値

- ✔ **地域との関り**
地域貢献ができるから
地域のなかで役割を持っているから
- ✔ **やりがい・自己成長**
楽しい、面白い、刺激になる
地域課題を知れるから
- ✔ **専門職同士のつながり**
専門職同士で協働できるから
コミュニケーションやつながりが得られるから
- ✔ **教育的価値**
学生にとって地域支援が学びの場になるから
- ✔ **業務**





課題 Challenges

任意団体としての構造的課題

制度面

- 法人格を持たないため、資金や契約の面で制度的基盤が脆弱であること

運営面

- 事務局機能が特定の事業所やリハ職に依存していること

活動面

- 平日の依頼に、本業との両立が必要
- 有休を用いての地域支援事業に参画
- 連絡会への参加や活動が所属内で評価されにくい



今後の展望

Future Prospects

持続可能な地域支援モデルの構築



所属機関へのメリット

- ・ 地域貢献、社会的評価の可視化
- ・ 人材育成、教育機会の提供



内発的動機に依存しない

- ・ 内発的動機を起点にしながらも、制度、評価、組織構造を整える



他地域との共有や発信

- ・ モデルの水平展開

